

# 神田駿河台地域まちづくり協議会

## 第40回協議会 議事要旨

日 時：令和7年4月10日（木） 18:00～19:00

場 所：お茶の水小学校 2階 ランチルーム

出席者：駿河台西町会・駿河台東部町会・小川町三丁目西町会・小川町北三町会  
お茶の水茗溪通り会・まえだれ会・服部学園・日本ハリストス正教会  
日本大学・佐々木研究所・東京地下鉄(株)・東日本旅客鉄道(株)  
日本出版販売(株)・明治大学・井上眼科病院

### 1. 前回の議事要旨の確認

【委員】 特に異議なし。

### 2. JR 御茶ノ水駅の整備工事について(報告事項)

○JR 東日本より「御茶ノ水駅整備工事」について報告

- ・工事着手前は、バリアフリー設備の不足、ホームの混雑、広場機能の不足、駅舎等の耐震性能の不足などの課題があった。
- ・千代田区やまちづくり協議会のご意見を賜りながら、聖橋口・お茶の水橋口の2方向のバリアフリーの整備、ホーム上の混雑緩和、駅前広場設置、構造物駅舎耐震補強工事等を実施。
- ・中央線のグリーン車導入に伴うホームの延伸工事、ホームドアの整備工事も同時並行で実施。
- ・令和7年3月31日に聖橋口駅前広場が全面使用開始になった。併せて、文京区側への移動のため、駅前広場から聖橋へ接続する短絡ルートを整備。
- ・駅に併設される店舗については段階的に開業してきており、5月14日には聖橋口駅舎2階部分を含めた全面開業を予定している。
- ・1階施設の配置や荷捌き駐車場の運用について説明。
- ・第34回まちづくり協議会で提示した地元貢献施策の実施内容について報告。
- ・工事のスケジュールについて説明。

今後、駅舎内部の残工事、道路境界部を含む舗装等の復旧工事、仮設栈橋の撤去工事（約2年間）を実施予定。併せて、ホームドアの設置に向けた工事を実施。

【委員】 前回協議会において、茗溪通りを荷捌き場にはしないでくださいと申し上げた。

現状の想定では、荷捌き車両は2t車が一日24台茗溪通りに来るとのことだが、荷捌き場は2tトラック1台分のスペースしかなく、バックで入らなければならないため出入りに時間がかかり、トラックが茗溪通りに複数台並ぶ状況が想定される。警備員を一人立てるということだが、沢山の医療関係の施設があり、大変危険な状況になるのではと危惧している。

人が通らない時間の搬入搬出をお願いしたが、一番人が多い13時から16時に車が集中するという状況だ。

改めて、搬入出は人通りの少ない朝5時から8時に集約すること、茗溪通りに入庫待ちの車両が並ばないように時間を分散させること、周囲のパーキングメーター等を利用し台車による搬出入としていくことを要望する。

また、供用開始後の状況を調査し当会への報告をして欲しい。

千代田区や近隣団体と共に、地域の賑わい創出について考えている中で、安全性の向上というのは不可欠と捉えている。是非、前向きな検討の程お願いしたい。

【J R】 荷捌きの使用について別の方法が取れないか、検討したものの搬入車両を全て路上駐車してくださいということはコンプライアンス上も難しいため、茗溪通りを通過しての荷捌きの使用をご説明させていただいた。

ご意見をいただき、昼間の人通りの多い時間帯は周囲の時間帯駐車場を利用する、茗溪通りに入る車両を少なくする等、運営会社と対応策について検討中である。具体的な搬入計画については改めてご説明ができればと思っている。荷捌きを待つ車の待機列については、待機列を作らないよう取引先へ予め指導する、スケジュールを組むなど、運営会社と引き続き努力をさせていただく。

入出庫をゼロにするのは難しいが、迷惑をかけないような工夫・取り組みをしていきたい。

【座 長】 この件については、次回協議会でご報告いただくこととする。

【委 員】 ホームの本体は、大変狭い。川があって、崖があって、構造的には無理だろうなと思いつつも8万人以上使っている大ターミナル駅ですよ。

当時、ホームを広げるといった話はなかったのか。

また、聖橋と新しい改札の接続ルートのところにはフェンスがあり、そこにスペースがあるが、何のためのスペースか。

【J R】 過去に列車の走る位置を変えてホームを拡張できないか検討を行ったが、神田川上空に線路がせり出すことに対する協議等が難航し、実現できなかった。そのため、階段やエスカレーターを増設し、列車を降りたお客様を速やかにコンコース階に上げるによりホームの混雑を緩和する計画とした。

また、聖橋との接続ルートのスペースは、新しく作った人工地盤と聖橋では地震が発生した際の挙動が異なるため、衝突を避けるために設けている。

### **3. その他(報告事項)**

○お茶の水茗溪通り会より《茗溪通りの歩行者専用道路化の取組み状況》について報告

- ・茗溪通りの歩行者専用道路化については、前回(第39回)協議会において当協議会の検討事項としていくこととなった。
- ・2021年に日本大学の協力のもと交通量調査を行い、2022年10月には千代田区のプレスメイキング等の実証実験を実施した。
- ・交通量調査、実証実験結果をもとに、会員に歩行者専用道路時間帯拡充のアンケートを実施。

- ・アンケート結果を踏まえて神田警察署長に歩行者専用道路時間帯を拡充したい旨の文書を提出。
- ・今後、お茶の水茗溪通り会としては、千代田区、駿河台西町会、サンクレール商店会を始めとした近隣機関、神田警察署等と協議を行いながら、ウォーカブルなまちづくりの推進に向けた具体的な取り組み（毎週日曜日を終日歩行者専用道路化、平日の歩行者専用時間帯の拡大等）を一緒に検討していきたい
- ・ウォーカブルの考え方については一度区にプレゼンして欲しいと思っている。

【 区 】 ウォーカブルのガイドブックを作ったため、今後、機会を設けたいと思っている。

茗溪通りは平日昼間の時間は歩行者専用道路として規制しているのか。  
平日の規制時間帯の拡大や休日の終日歩行者専用道路とするなどの検討をすることは町会含め、地域の皆さまの総意であるのか。

【委 員】 12時から13時でお昼の時間を歩行者専用道路としている。  
井上眼科、サンクレールからは承認いただいている。

【 区 】 通過車両もあり、大学など団体としての考えもあるかもしれない。いきなり全日止めるということになると支障があると思うので、この時間であれば大丈夫というところがあれば、少し区の方で持ち帰らせていただき案を作成し、次回の協議会で意見交換するようなかたちでよろしいか。

【座 長】 歩行者専用道路とする時間帯などの具体的な内容やウォーカブルの考え方について、協議会の検討事項とすることでよいか。

(異議なし)

○まえだれ会より《ネズミの対策》について

御茶ノ水駅付近にネズミがすごく多いため、対策を考えてほしい。

【 区 】 協議会で検討するというのではなく、所管である保健所にまずはご意見を伝える。保健所でお話を伺い、相談しながら対策については調整させていただくことになると思う。

○千代田区 神田地域まちづくり担当課長より報告

- ・本協議会で平成18年に神田駿河台地域まちづくり基本構想を策定した。
- ・決定以降、間もなく20年が経過するが、その間、社会情勢も変わってきた。他方で、JR駅の改修や周辺での建て替えが進んできた。
- ・これまで目指してきた基本構想について一度振り返り、次回以降の協議会で皆様のご意見を伺いたいと思っている。

— 終了 —